

**I 第22週の発生動向 (2009/5/25~2009/5/31)**

1. インフルエンザについては、県全体では、減少傾向にあります。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。

**II 第22週五類感染症定点把握** 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数		東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
小児科 内科 (85) インフルエンザ	14	1.0	11	0.7	12	0.9			40	4.4	1	0.2	78	1.2	-11					14	1.2				
小児科 (74) RSウイルス感染症									1	0.2			1	0.0	-4										
(75) 咽頭結膜熱			3	0.3							9	2.3	12	0.3	-4										
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	2.2	16	1.8	12	1.3	2	0.4	32	5.3	5	1.3	87	2.1	-19	1	1.0	19	2.4						
(77) 感染性胃腸炎	56	6.2	27	3.0	12	1.3	21	4.2	5	0.8	33	8.3	154	3.7	-17	14	14.0	42	5.3						
(78) 水痘	32	3.6	3	0.3	2	0.2	1	0.2	21	3.5			59	1.4	23			32	4.0						
(79) 手足口病	36	4.0					6	1.2			1	0.3	43	1.0	12			36	4.5						
(80) 伝染性紅斑	5	0.6	1	0.1			1	0.2			1	0.3	8	0.2	0			5	0.6						
(81) 突発性発しん	6	0.7	1	0.1	6	0.7	1	0.2	2	0.3	3	0.8	19	0.5	8	1	1.0	5	0.6						
(82) 百日咳															-1										
(83) ヘルパンギーナ															0										
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.0	1	0.1			2	0.4	1	0.2	1	0.3	14	0.3	-2			9	1.1						
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0			1	0.5	1	1.0					4	0.4	0			2	1.0						
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			4	4.0	4	4.0					7	7.0	15	2.5	9										

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	12	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	65	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

**III 表II以外の感染症法対象疾患** (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸2人、五所川原1人、上十三2人、むつ1人 (21年計：144人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：八戸1人、五所川原1人、東地方1人 (21年計：4人)
- (58) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)：八戸1人 (21年計：1人)
- (63) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：1人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患)：青森市1人 (検査診断例) (21年計：4人)

**IV 病原体検出情報**

- ・弘前地域における急性胃腸炎患者1名(5/11検体採取)から、ノロウイルスGⅠ型が検出されました。
  - ・下北地域における喘息様気管支炎患者1名(5/8検体採取)から、ヒトメタニューモウイルスが検出されました。
- ☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

# 感染症の窓

# アメーバ赤痢

表1 アメーバ赤痢届出数年次推移(人)

年	青森県	全国
2000	1	220
2001	—	235
2002	—	245
2003	—	268
2004	—	610
2005	3	688
2006	—	373
2007	1	435
2008	4	861
2009/6/4 現在	1	317

本疾患は原虫に分類される赤痢アメーバ (*Entamoeba histolytica*) による感染症です。2009年、初めての届出がありました(右表)。

潜伏期は2~3週とされていますが、数ヶ月~数年におよぶこともあります。

症状は、病変部位によって異なりますが、主な症状は下痢、粘血便、しぶり腹、鼓腸、排便時の下腹部痛、イチゴゼリー状の粘血便、肝膿瘍、肝腫大などです。

感染は、患者の排泄物などの経口摂取により感染することから、手洗いの励行など日頃からの一般的な衛生の徹底管理、感染症予防対策が重要です。

## V インフルエンザ情報 第22週 (5/25~5/31)

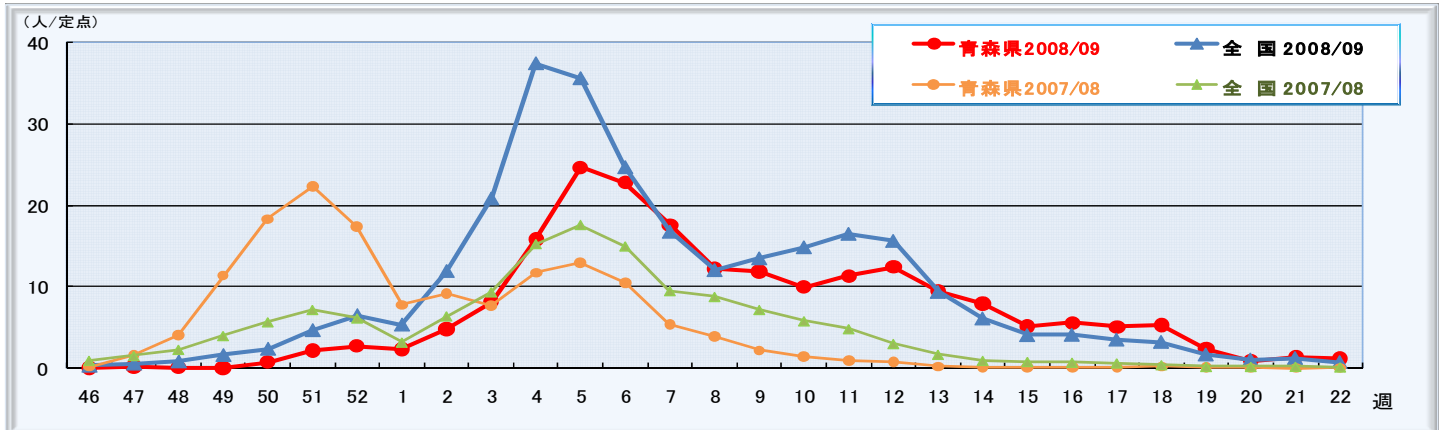
迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。 ↑ : 前週に比べ増加

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	11	12	0	40 ↑	1	14
A型	0	0	0	0	0	0	0
B型	0	11	12	0	39	1	14

県全体の届出数は減少していますが、**上十三保健所管内**では、**増加**しました（第21週 23人→第22週 40人）。前週に引き続き B 型の検出が見られていることから今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが大切です。

## VI 全国及び青森県におけるインフルエンザ届出数推移 (2007-2008 シーズン - 2008-2009 シーズン)

\* Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



## VII 新型インフルエンザ情報

(2009年6月3日 午後5時速報値)

現在、新型インフルエンザ感染患者は米国、メキシコなど48カ国で確認され、合計17,410人が報告されています(2009年6月3日 午後5時速報値)。

日本国内の感染者数は386人です。(6月3日現在速報値)。

厚生労働省では、

- ・正しい情報に基づいた冷静な対応
- ・発生国への渡航を避けること
- ・手洗いやマスクの着用、うがいの励行をお願いしています。

### 新型インフルエンザ医療相談センター窓口

保健所名	電話番号
東地方保健所	017-741-8116
弘前保健所	0172-33-8521
八戸保健所	0178-27-5111
五所川原保健所	0173-34-2108
上十三保健所	0176-23-1996
むつ保健所	0175-24-1231
青森市保健所	017-765-5282

受付時間は、平日及び祝祭日ともに、午前8:30~午後5:30です。

(窓口開設期間: 2009年6月4日現在)

平成21年5月18日以降、地方衛生研究所(環境保健センター)及び検疫所において判明した結果をもって、新型インフルエンザ患者の確定とすることになりました。

厚生労働省

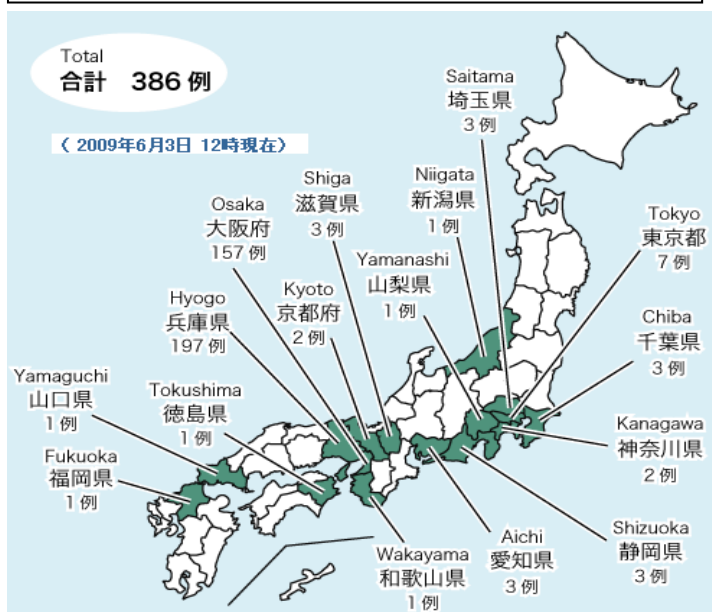


図 日本国内報告数  
(国立感染症研究所感染症情報センター資料)